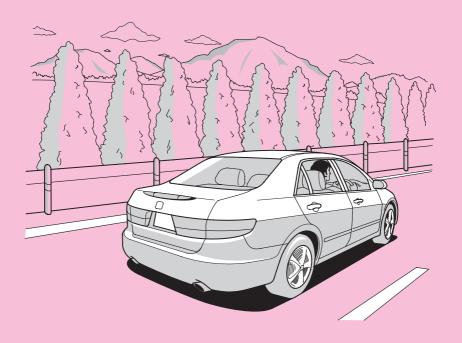
INSPIRE HiDS

このたびはHonda車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は INSPIRE に装備された
HiDSの取り扱いについてのみ説明してあります。
その他の内容については INSPIRE 取扱説明書を
ご覧ください。

**HiDSは運転者の操作負担を軽減するための
運転支援システムです。
運転するときは常に周囲の状況に気をつけて、
安全運転を心がけてください。**

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

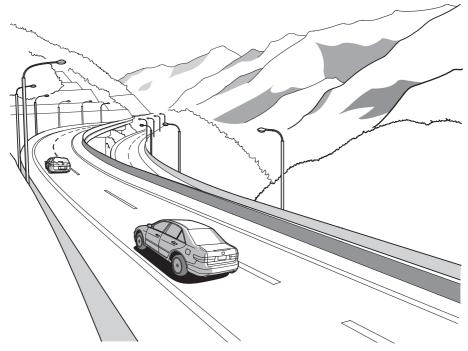
お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています）

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

もくじ

はじめに

HiDS（Hondaインテリジェントドライバーサポートシステム）
車速や先行車との車間距離を制御するIHCCと運転者のハンドル操舵力を補うLKASの２つのシステムから構成されています。

IHCC（インテリジェントハイウェイクルーズコントロール）
先行車との車間距離を一定に保ちながら、セットした車速で走行するシステムです。

LKAS（レーンキープアシストシステム）
車線の中央付近を走行するようにハンドルに操舵力を加え、運転者のハンドル操作を補うシステムです。

名前とはたらき

カメラ
道路上の左右の白線(黄線)を検知します。

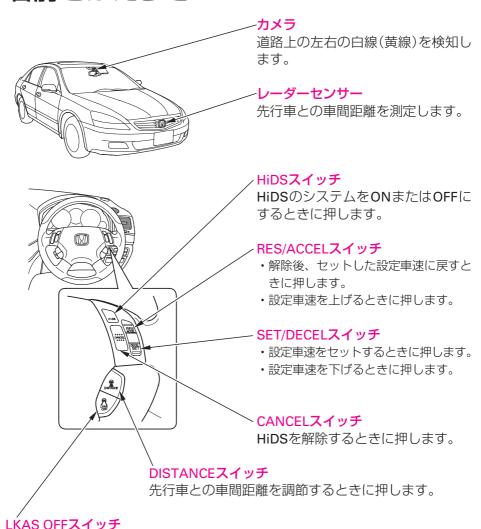
レーダーセンサー
先行車との車間距離を測定します。

HiDSスイッチ
HiDSのシステムをONまたはOFFにするときに押します。

RES/ACCELスイッチ
・解除後、セットした設定車速に戻すときに押します。
・設定車速を上げるときに押します。

SET/DECELスイッチ
・設定車速をセットするときに押します。
・設定車速を下げるときに押します。

CANCELスイッチ
HiDSを解除するときに押します。

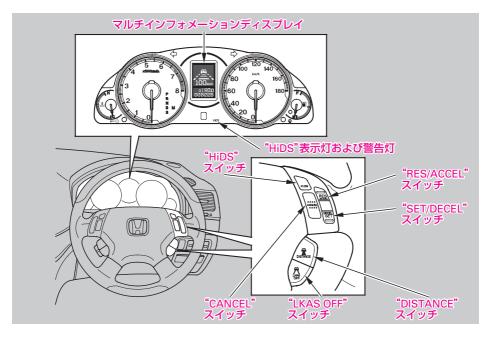
DISTANCEスイッチ
先行車との車間距離を調節するときに押します。

LKAS OFFスイッチ
LKASのみを解除するときに押します。もう一度押すとLKASが復帰します。

Hondaインテリジェントドライバーサポートシステム[HiDS]（車間制御・車線維持支援機能付きクルーズコントロール）

HiDSとは、先行車との車間距離を一定に保ちながら、セットした車速で走行するシステム（IHCC）と、車線の中央付近を走行するようにハンドルに操舵力を加え、運転者のハンドル操作を補うシステム（LKAS）を合わせたものです。
HiDSは、高速道路または急なカーブがなく、加速・減速の繰り返しが少ない自動車専用道などで運転するときに使用してください。

HiDSは、運転者に代わる自動運転システムではありません。

IHCCの車間距離の測定は、レーダーセンサーから発信した電波を先行車に当てることにより行います。なお、電波が届く範囲は、自車の前方約100mまでです。
LKASの走行位置の測定は、カメラで道路上の左右の白線（または黄線）を検知することにより行います。

IHCCについて　→15ページ
LKASについて　→32ページ

⚠警告

- HiDSの機能には限界がありますので、正しく使用しないと高速での追突および車線からの逸脱など、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。
  運転するときは、次のことを守ってください。
  - 周囲の状況によってはブレーキペダルを踏んで、先行車との十分な車間距離を確保してください。また、後続車との車間距離も確保してください。
  - 周囲の状況に応じて、常に適切なハンドル操作をしてください。
- 次のような状況のときは、HiDSを使わないでください。実際の走行状況にあわせた適切な作動ができず、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
  - **交通量の多い道や頻繁に加速・減速を繰り返すような交通状況**
    交通状況にあった速度や車間距離を保ちながら走行できません。
  - **急カーブのある道**
    道路形状にあった速度で走行できません。また、システムからのハンドル操舵力が作動しなくなります。
  - **急な下り坂**
    エンジンブレーキが十分に効かないため、セットした車速を超えてしまいます。このような場合は、IHCCによるブレーキは作動しません。
  - **高速道路などで、料金所、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアへ進入するとき**
    自車の前から先行車がいなくなることにより、セットした車速まで加速を始めます。また、道路状況にあった車線維持ができません。
  - **悪天候のとき(雨、霧、雪のときなど)**
    先行車との車間距離を正確に測定できません。また、白線(黄線)を正確に検知することができません。
  - **凍結路や積雪路などのすべりやすい路面**
    タイヤが空転して車のコントロールを失います。

HiDSの作動について

HiDSを作動させると、IHCCとLKASの２つのシステムがONになります。
LKASは、IHCCが作動しているときにのみ作動し、IHCCが解除されるとLKASも同時に解除されます。
またLKASを使用しないときは、IHCCのみを作動させることができます。

●設定車速

HiDSは車速を45～100km/hの範囲で設定したときに使用することができます。
設定車速が45～64km/hのときは、IHCCのみが作動します。設定車速が65～100km/hのときは、IHCCに加えてLKASも作動します。

設定車速のセット　→20ページ

知　識

- 先行車との車間距離を制御しているときに、車速が約60km/h以下になると、LKASが解除されます。車間制御中に車速が約65km/h以上になり、システムが左右の白線（黄線）を検知するとLKASは自動で復帰します。
  車速が約40km/h以下になると、IHCCが解除されます。IHCCは自動では復帰しません。

●車線変更

車線変更などをするときは、方向指示器（ウィンカー）を操作すると、LKASのみが解除されます。方向指示器が戻り車線の中央付近を走行して、システムが左右の白線（黄線）を検知すると、LKASが自動で復帰します。

知　識

- 方向指示器（ウィンカー）を操作しないで車線変更を行うと、LKASが解除されず車線逸脱警報が作動します。

車線逸脱警報について　→44ページ

- 急なハンドル操作をしたときは、運転者のハンドル操作を優先して、LKASは自動で解除されます。

●ワイパー操作

雨などでワイパースイッチを“LO”または“HI”にして、ワイパーを連続作動させると、LKASのみが解除されます。ワイパースイッチを“OFF”にすると、LKASは復帰します。

知　識

- ワイパースイッチが“AUTO”のときは、雨などでワイパーが連続作動になってもLKASは解除されません。システムが白線(黄線)を検知することができなくなると、LKASが自動で解除されます。システムが再び白線(黄線)を検知すると、LKASは自動で復帰します。
  雨などでワイパーが連続作動になるようなときは、LKASは使用しないでください。

  LKASのみを解除する　→40ページ
- ワイパーを“MIST”で連続して作動させるとLKASは解除されます。

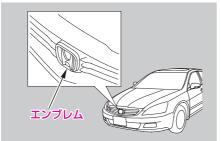
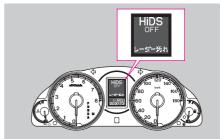
●IHCCとLKASの作動

作動条件		IHCC	LKAS
設定車速 (セットした車速)	45〜64km/hのとき	○	×
	65〜100km/hのとき	○	○
車間制御中の車速	約０〜40km/hのとき	×	×
	約40〜60km/hのとき	○	×
	約60〜100km/hのとき	○	○
方向指示器(ウィンカー)の操作をしたとき		○	×
ワイパースイッチを“LO”または“HI”にしたとき		○	×

○：作動する
×：作動しない

HiDSの取り扱いについて

●レーダーセンサー

IHCCのレーダーセンサーは、フロントグリルのエンブレムの奥に取り付けられています。
エンブレムが汚れて、システムが先行車との車間距離を測定できなくなると、IHCCが自動で解除され、マルチインフォメーションディスプレイに“HiDS OFF、レーダー汚れ”が約3秒間表示されます。このときブザー(単音3回)も同時に鳴ります。
この場合は、エンブレムの汚れをやわらかい布などできれいに拭き取ってください。

知　識

- 交通量が少なく、レーダーセンサーから発信した電波を反射する物が少ない道路を走行すると、IHCCが自動で解除されマルチインフォメーションディスプレイに“レーダー汚れ”が表示されることがあります。

知　識

●システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

・エンブレムは常にきれいな状態にしてください。

・エンブレムの汚れがひどいときは、水や中性洗剤などで汚れを拭き取ってください。エンブレムを損傷する原因となりますので、ベンジン、シンナー類およびクレンザーなどの磨き粉類は使わないでください。

・エンブレムにステッカーなどを貼ったり、エンブレムを交換しないでください。レーダーの電波がさえぎられます。

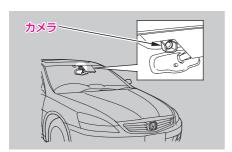
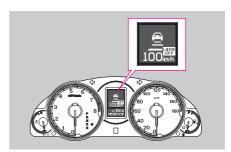
・レーダーセンサー本体の横にある調整ボルトは回さないでください。

・レーダーセンサー本体やその周辺部に強い衝撃や力を加えないでください。
万一、衝撃が加わった場合は、HiDSの使用をやめてHonda販売店にご相談ください。

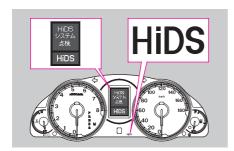
・フロントグリル周辺の修理を行う際は、Honda販売店にご相談ください。

●カメラ

LKASのカメラは、前席のマップランプ付近に取り付けられています。
カメラ内部の温度が高温または低温になると、LKASが自動で解除され待機状態になり、マルチインフォメーションディスプレイに“LKAS OFF”が表示されます。このときブザー(単音1回)も同時に鳴ります。
LKASが作動できる状態になると、自動で復帰し“LKAS OFF”の表示は消灯します。

知　識

- システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。
  - ・カメラ付近のフロントガラスは、汚れたり曇っていないように常にきれいな状態にしてください。
  - ・フロントガラスの手入れをするときは、ガラスクリーナーなどがカメラのレンズに付着しないようにしてください。また、カメラのレンズには触れないでください。
  - ・カメラ付近のフロントガラスにステッカーなどを貼らないでください。
    透明なステッカーでも誤作動の原因となります。
  - ・カメラのレンズの手入れは、Honda販売店にご相談ください。
  - ・カメラ本体やその周辺部に強い衝撃や力を加えないでください。万一、衝撃が加わった場合は、HiDSの使用をやめてHonda販売店にご相談ください。
  - ・カメラ本体周辺の修理を行う際は、Honda販売店にご相談ください。

●HiDS警告灯(オレンジ)

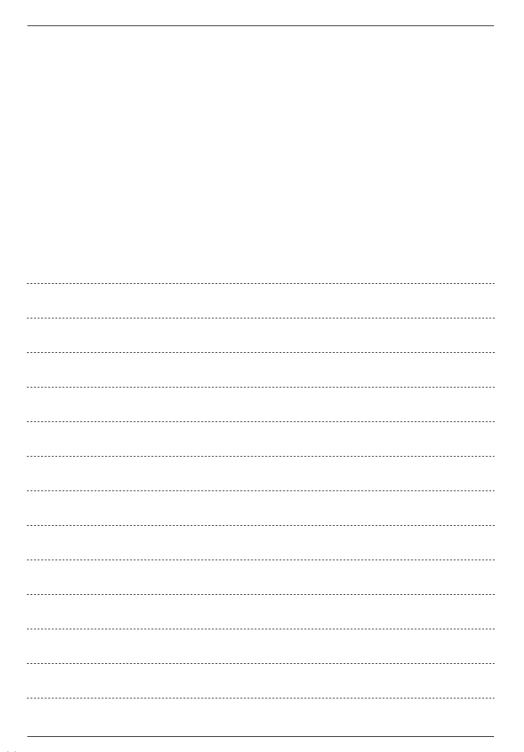
メーター内に組み込まれており、HiDSが異常のときに点灯します。また、マルチインフォメーションディスプレイに"HiDSシステム点検"が表示されます。

エンジンスイッチを"II"にしたときに数秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
  - ・運転中に点灯したとき
  - ・エンジンスイッチを"II"にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき

  警告灯が点灯しているときは、HiDSは作動しません。

知　識

- 四輪とも同一サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとHiDSが正常に作動しなくなることがあります。
- 応急用スペアタイヤを装着しているときは、HiDSを使用しないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

インテリジェントハイウェイクルーズコントロール[IHCC]
（車間制御付きクルーズコントロール）

インテリジェントハイウェイクルーズコントロール（IHCC）とは、高速道路または加速・減速の繰り返しの少ない自動車専用道などで運転するとき、アクセルペダルやブレーキペダルを踏まなくても、先行車との車間距離を一定に保ちながら、定速で走行できるシステムです。

先行車が減速したときは、車間距離を一定に保ちながら自動で減速します。また、先行車が加速したときは、車間距離を保ちながら自動で設定車速まで加速します。車間距離は走行車速に比例して制御され、自車の速度が遅くなれば車間距離は短くなり、自車の速度が速くなれば車間距離は長くなります。
なお、先行車の急な減速などにより、車間距離を一定の間隔に保てないときは、警告ブザーと警告表示で運転者に知らせます。

IHCCは、悪天候などによる視界不良での運転を支援するものではありません。

●IHCCの作動

先行車がいないとき

①定速走行

アクセルペダルを踏まなくても、セットした車速(45〜100km/h)で、定速走行をします。

先行車がいるとき

②減速走行

セットした車速より遅い先行車が現われたときは、先行車の速度に合わせて自動で減速します。

なお、先行車の急な減速や、他車の割り込みなどで、先行車と接近しすぎたときは、接近警報(警告ブザーと警告表示)が作動します。ブレーキペダルを踏むなどして減速し、適切な車間距離を確保してください。

先行車の速度まで減速したあとは、先行車の速度変化に合わせた追従走行をします。

③追従走行

セットした車速(45〜100km/h)を上限として、先行車の速度に応じた車間距離を保ちながら追従走行をします。

知 識

- 先行車との車間距離を制御しているときに、車速が約60km/h以下になると、LKASが解除されます。さらに、約40km/h以下になると、IHCCが解除されます。

④加速走行

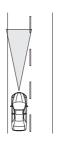
先行車がいなくなると、セットした車速(45〜100km/h)まで自動的にゆっくり加速します。セットした速度まで加速したあとは、定速走行をします。

知 識

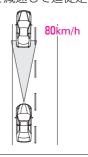
- 先行車との車間距離を制御しているときに、車速が約65km/h以上になり、システムが左右の白線(黄線)を検知すると、LKASが自動で復帰します。

例：設定車速を100**km/h**にセット

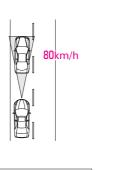
①定速走行

[先行車がいないとき]
設定した車速(100**km/h**)で定速走行

100km/hにて走行

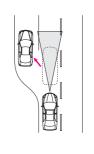
②減速走行

[設定した車速より遅い先行車が現われたとき]
設定した車速(100**km/h**)から先行車の車速80**km/h**まで減速して追従走行

100→80km/hに減速

③追従走行

[先行車(80**km/h**)がいるとき]
先行車の車速に応じた車間距離を維持して、先行車の車速に合わせて追従走行

80km/hにて追従走行

④加速走行

[先行車がいなくなったとき]
設定した車速(100**km/h**)まで加速し定速走行

80→100km/hに戻る

：自車から発信した電波を示します。

知　識

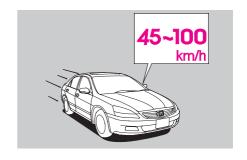
- IHCCは、自動で停止するシステムではありません。減速制御を行う車速は約40 km/hまでです。また、減速能力には限界があります。
- IHCCは、低速（20km/h以下）で走行している車や停車中の車に対しては、先行車として検知しません。また、接近警報（警告ブザーと警告表示）も作動しません。ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。
  高速道路の料金所や渋滞の最後尾など、前方に停車中の車があるときは、適切なブレーキ操作をしてください。
- 2輪車に対しては次のような場合、車間を制御できないことがあります。
  - ・スクーターなどの小型2輪車
  - ・車線の端ぎりぎりの部分を走行している2輪車
- 道路状況（カーブなど）や自車の状況（ハンドルの操作や車線内の位置）によっては、一時的にとなりの車線の車や周囲の物を測定することがあります。また、先行車以外を測定して、車間距離制御または接近警報が作動する場合があります。
- アクセルペダルを踏んでいるときは、車間距離制御は作動しません。また、車間距離が短くても接近警報は作動しません。
- 次のような場合には、車間距離が短くても接近警報が作動しないことがあります。
  - ・先行車とほぼ同じ速度で走っているとき
  - ・先行車の速度が自車よりも速く、次第に離れていくとき
- 追従走行中に割り込まれたとき、割り込み車の速度が自車よりも速く次第に離れていく場合は、割り込み車との車間距離が短くても、割り込み車に追従して車間距離をあけながら緩やかに加速することがあります。
- 上り坂や下り坂では、条件により一定車速を保てない場合があります。
- IHCCによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
- エンジン始動時、またはエンジンスイッチを“II”にするときは、車を静止した状態で行なってください。また、駐車場のターンテーブルなどで車の向きを変える場合は、エンジンスイッチを“0”にしてください。
  車両が動いているときにエンジンスイッチを“II”にすると、ヨーレートセンサーが正しく作動しなくなり、IHCCを作動させたときに先行車の検知ができないことがあります。

●IHCCの作動条件

IHCCは、次のすべての条件を満たしたときに作動します。

・セレクトレバーがⒹまたはⓂ(シーケンシャルモード)では２速以上のとき

・ブレーキペダルを踏んでいないとき

・約45～100km/hの速度で走行しているとき

なお、すべての条件を満たしていても、パーキングブレーキがかかっていたり、悪天候などで正確に先行車との車間距離を測定できないような状況のときは、システムが作動しないことがあります。

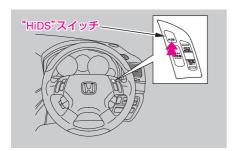
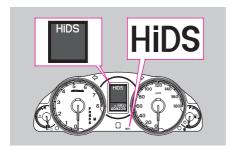
知　識

●IHCCが作動しているときに、アクセルペダルに足を乗せるとマルチインフォメーションディスプレイの先行車マークが点線で表示され、IHCCが一時的に解除されます。
アクセルペダルから足を離せば、IHCCが復帰します。

●シーケンシャルモードでIHCCが作動しているときは、１速へシフトダウンするとIHCCが解除されます。

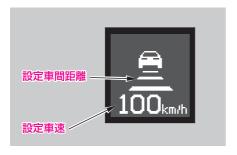
IHCCを作動させる

●設定車速のセット

①“HiDS”スイッチを押してシステムをONにします。
HiDSをONにすると、メーター内の“HiDS”表示灯(グリーン)が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに“HiDS”が表示されます。

知 識

- エンジンスイッチを“Ⅰ”または“0”にしたときは、“HiDS”スイッチは自動的にOFFになります。
- IHCCを使わないときは、安全のため“HiDS”スイッチをOFFにしておいてください。

②アクセルペダルを加減して、約45～100km/hの希望の車速になったら、ハンドルにある“SET/DECEL”スイッチを押して離します。
（スイッチを離したときの車速にセットされます。）

車速がセットされIHCCが作動すると、マルチインフォメーションディスプレイに設定車速と設定車間距離が表示されます。

車間距離の変えかた　→26ページ

知　識

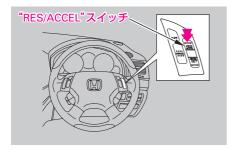
●車速が約45km/h以上になると、IHCCが待機状態になり、マルチインフォメーションディスプレイに“Standby”が表示されます。

●IHCCが待機状態のときで設定車速が記憶されているときは、メモリー車速が表示されます。
メモリー車速が表示されているときは、“RES/ACCEL”スイッチを押すと、メモリー車速にセットされます。

メモリー車速　→27ページ

●設定車速を上げたいとき

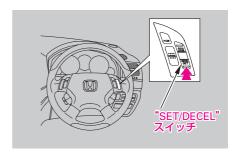
“RES/ACCEL”スイッチで車速を上げる場合

・スイッチを１回ずつ押す
　…１回押すごとに５km/hずつ車速が上がります。
・スイッチを押し続ける
　…押し続けると車速が上がります。（スイッチを離したときの車速にセットされます。）

知　識

●先行車がいると先行車との車間距離を維持しますので、スイッチを押しても車速が上がらないことがあります。
●セットした車速まで自動で加速している間は、ディスプレイの設定車速が点滅表示します。

アクセルペダルで車速を上げる場合

アクセルペダルを踏んで加速し、希望の車速になったときに“SET/DECEL”スイッチを押して離します。
（スイッチを離したときの車速にセットされます。）

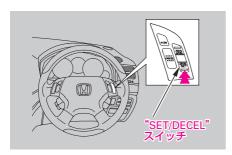
知　識

●セットした車速は、ディスプレイに表示されます。

●設定車速を下げたいとき

“SET/DECEL”スイッチで車速を下げる場合

・スイッチを１回ずつ押す
…１回押すごとに５km/hずつ車速が下がります。

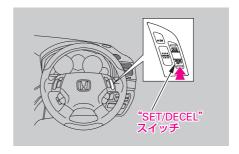
・スイッチを押し続ける
…押し続けるとエンジンブレーキで減速し、車速が下がります。
（スイッチを離したときの車速にセットされます。）

知　識

●エンジンブレーキが十分に効かないような下り坂では、車速が設定車速を超えることがあります。

●セットした車速は、ディスプレイに表示されます。

ブレーキペダルで車速を下げる場合

ブレーキペダルを踏んで減速し希望の車速になったときに、ブレーキペダルから足を離し、“SET/DECEL”スイッチを押して離します。
（スイッチを離したときの車速にセットされます。）

知　識

●セットした車速は、ディスプレイに表示されます。

●一時的に加速したいとき

アクセルペダルを踏み込むと、IHCCが一時的に解除され車速が上がります。アクセルペダルを離すとセットした車速に戻ります。

知　識

- アクセルペダルを踏んでいるときは、車間距離が短くても接近警報は作動しません。
- アクセルペダルを踏んで車速が約100km/hを超えると、LKASも解除されます。
  アクセルペダルを離して車速が約100km/h以下になると、LKASは復帰します。
- 加速中の車速によっては、IHCCとLKASはともに復帰しません。

●一時的に減速したいとき

ブレーキペダルを踏むとIHCCが解除され減速します。

IHCCが解除された後、“RES/ACCEL”スイッチを押すと、IHCCが復帰しセットした車速に戻ります。

知　識

- エンジンブレーキが十分に効かないような下り坂では、車速が設定車速を超えることがあります。
- ブレーキペダルを踏むとLKASも同時に解除されます。また、IHCCを復帰させるとLKASも復帰します。
- 車速が約45km/h以下のときは、“RES/ACCEL”スイッチを押しても、IHCCは復帰しません。

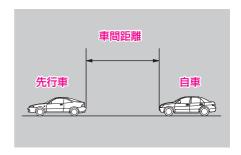
●先行車を検知したとき

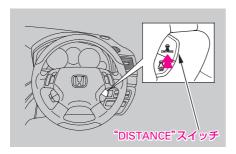
先行車を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイに先行車マークが表示されます。このときブザー(単音1回)も同時に鳴ります。

先行車を検知していないときは、先行車マークが点線で表示されます。

知 識

- 先行車を検知しなくなったときは、ブザー(単音1回)が鳴ります。
- 車線変更や割り込みなどで、検知している先行車が入れ換わったときは、先行車マークが一瞬点線で表示されます。

先行車との車間距離は、3段階に切り換えることができます。
車間距離は車速に比例して制御され、自車の速度が遅くなれば車間距離は短くなり、自車の速度が速くなれば車間距離は長くなります。

車間距離の変えかた

“DISTANCE”(ディスタンス)スイッチを押すごとに、設定車間距離が長→中→短→長…と切り換わります。

設定した車間距離は、ディスプレイに長、中、短の 3 段階で表示されます。

車間距離の目安

車速／車間距離	80km/h	100km/h
短	約33m	約40m
中	約43m	約53m
長	約56m	約69m

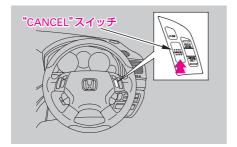
なお車速が遅くなるほど、上記の車間距離も短くなります。

IHCCを解除するとき

●解除するとき

次の操作をすると、IHCCとLKASが解除されます。

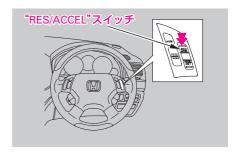
・“CANCEL”（キャンセル）スイッチを押したとき
・ブレーキペダルを踏んだとき
・“HiDS”スイッチを押したとき

知　識

● “HiDS”スイッチを押すと、メーター内の“HiDS”表示灯（グリーン）が消灯しシステムがOFFになります。

メモリー車速

“CANCEL”スイッチを押したり、ブレーキペダルを踏んでIHCCを解除したときは、設定車速が記憶されます。記憶された設定車速は、IHCCが待機状態のときにメモリー車速として表示されます。

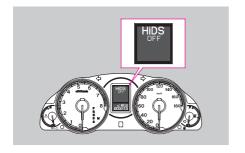
●解除前の設定車速に戻したいとき

IHCCが待機状態でメモリー車速が表示されているときは、“RES/ACCEL”スイッチを押すと、解除前にセットした車速（メモリー車速）まで戻り、再びIHCCを作動させることができます。
このとき車速が約65km/h以上になると、LKASも復帰します。

知　識

● 解除した後、車速が約45km/h以下のときは、“RES/ACCEL”スイッチを押しても、IHCCは復帰しません。
● “HiDS”スイッチを押してIHCCを解除したときは、“RES/ACCEL”スイッチを押してもIHCCは復帰しません。

自動解除について

次の場合には、IHCCが自動で解除され、マルチインフォメーションディスプレイに“HiDS OFF”が約３秒間表示されます。このときブザー（単音３回）も同時に鳴ります。
なお、IHCCは自動では復帰しません。

・車速が約40km/h以下になったとき
・悪天候のとき（雨、霧、雪のときなど）
・フロントグリルのエンブレムに汚れが付いたとき
・先行車を安定して検知できないとき
・タイヤが空転（スリップ）したときやタイヤの異常を検出したとき
・山岳路や悪路などを長時間走行したとき
・急なハンドル操作をしたとき
・ABSまたはVSAが作動したとき
・VSA警告灯が点灯したとき

知　識

●IHCCが解除されると、LKASも同時に解除されます。
●悪天候などでフロントグリルのエンブレムが汚れたときは。
→10ページ
●IHCCを使用できる状況になり、車速が約45km/h以上のときは、“RES/ACCEL”スイッチを押すと、IHCCが復帰し解除前にセットした車速まで戻ります。
解除された後、“HiDS”スイッチを“OFF”、またはエンジンスイッチを“Ｉ”または“０”にしたときは、設定車速のセットを行ってください。

マルチインフォメーションディスプレイの表示について

表示	説明
HiDS	“HiDS”スイッチを押して、HiDSがONのとき
HiDS Standby “Standby”が点灯	IHCCが待機状態のとき “SET/DECEL”スイッチを押すと、設定車速がセットされます
HiDS Standby 100km/h “Standby”とメモリー車速が点灯	IHCCが待機状態で、解除前にセットした車速を記憶しているとき “RES/ACCEL”スイッチを押すと、メモリー車速に復帰します
100km/h 先行車マークが点線で表示	先行車を検知していないとき
100km/h 先行車マークが点灯	先行車を検知しているとき

HiDS OFF レーダー汚れ	エンブレムが汚れて、HiDSが自動で解除されたとき
HiDS OFF	悪天候などで、HiDSが自動で解除されたとき
100km/h BRAKE ← “BRAKE”がオレンジ色で点滅	先行車に接近して、運転者のブレーキ操作が必要なとき （接近警報が作動中）

IHCCの警報について

IHCCが作動しているときは、警告ブザーと警告表示で、先行車への注意を運転者にうながします。

●接近警報

先行車の急な減速や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近しすぎたときに作動します。この場合は、ブレーキペダルを踏むなどして減速し、適切な車間距離を確保してください。

警告ブザー

断続音(ピッピッピッピッ…)が鳴ります。

知　識

- IHCCの警告ブザーは、LKASの警告ブザーより高い音になってます。

警告表示

マルチインフォメーションディスプレイに“BRAKE”の表示がオレンジ色で点滅します。

ブレーキ警告表示(オレンジ色で点滅)

IHCCのブザー音について

次のようなときはブザーが鳴り、運転者にシステムの状態を知らせます。

単音１回(ピッ)

システムが先行車を検知したとき、また検知しなくなったときに鳴ります。

単音３回(ピッピッピッ)

車速が約40km/h以下になったときや、悪天候などでシステムが自動で解除されたときに鳴ります。

知　識

- 車速が約45km/h以下のときに“SET/DECEL”スイッチを押すと、単音が３回鳴り、IHCCが作動していないことを知らせます。

レーンキープアシストシステム[LKAS]（車線維持支援システム）

レーンキープアシストシステム（LKAS）とは、高速道路または急なカーブのない自動車専用道などで運転するとき、車線に沿って走行するように運転者のハンドル操舵力の一部を補うシステムです。

自車が車線の中央付近からずれようとすると、中央付近を走行するようにシステムがハンドルに操舵力を加え、運転者のハンドル操舵力の一部を補います。ハンドルから手を離したまま走行し、ハンドル操作を怠ると、LKASは作動しません。
なお、自車が車線から逸脱するおそれがあるときは、警告ブザーと警告表示で運転者に知らせます。

LKASは、運転者のハンドル操作に代わるものではありません。

●LKASの作動

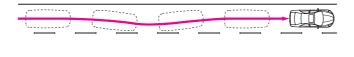
①車線に沿って走行するとき

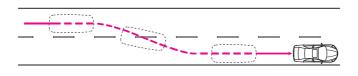
自車が左右の白線（黄線）に近づくにしたがい、車線の中央に自車を戻そうとするシステムからの操舵力が強くなっていきます。自車が車線の中央付近に戻るにしたがい、システムからの操舵力が弱くなっていきます。
なお、自車が車線を越えようとしたときは、車線逸脱警報（警告ブザーと警告表示）が作動します。適切にハンドルを操作し、車線の中央を走行するようにしてください。

②車線変更をするとき

方向指示器（ウィンカー）を操作すると、LKASは解除され待機状態になります。このときは、ハンドルにシステムからの操舵力がはたらきません。
車線変更後に方向指示器が戻り、車線の中央付近を走行して、システムが左右の白線（黄線）を検知するとLKASが復帰します。

①車線に沿って走行するとき

白線(黄線)に近づくにしたがい、自車を車線の中央に戻そうとするシステムからの操舵力が強くなる。
車線の中央付近に戻るにしたがい、システムからの操舵力が弱くなる。

②車線変更をするとき

方向指示器(ウィンカー)を操作すると、LKASが解除され待機状態になる。
車線変更後に方向指示器が戻り、車線の中央付近を走行して、システムが左右の白線(黄線)を検知するとLKASが復帰する。

――――：LKAS作動中を示します。
- - - - ：LKAS待機中を示します。

知 識

- LKASは、自動でハンドルを操作するシステムではありません。また、ハンドル操舵力を補う力には限界があります。
- 高速道路などで、料金所、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどの分岐路を走行するときは、自車が走行している車線の白線(黄線)を正しく検知することができず、走行位置を正しく設定できない場合があります。
- 次のようなときは、白線(黄線)を正しく検知することができず、走行位置を正しく設定できない場合やLKASが自動で解除され待機状態になることがあります。
  - ・車線の数が増加または減少している区間や車線が複雑に交差している区間を走行するとき
  - ・白線(黄線)がかすれや汚れなどにより見えにくいとき
  - ・先行車が白線(黄線)の近くを走行して、白線(黄線)が見えにくいとき
  - ・天候(雨、霧、雪のときなど)により、白線(黄線)が見えにくいとき
  - ・工事による車線規制や仮設の車線がある区間を走行するとき
  - ・道路の補修跡や古い白線(黄線)が完全に消えていないとき
  - ・トンネルの出入り口など、周辺の明るさが急に変わるとき
  - ・ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれているとき
  - ・フロントガラスが汚れているときや曇っているとき
  - ・逆光を浴びて路面が光っているとき
  - ・雨あがりなどで、路面がぬれて光っているときや水たまりがあるとき
  - ・ガードレールなどの影が、道路上に白線(黄線)と平行して写っているとき
  - ・車線の幅が狭いときや広いとき
  - ・道路がうねっているとき
  - ・段差などにより車が大きく揺れたとき
- 白線(黄線)を検知していないときは、車線逸脱警報は作動しません。
- 白線(黄線)を正しく検知することができず、走行位置を正しく設定できない場合は、車線逸脱警報が正しく作動しません。

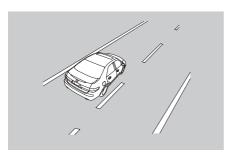
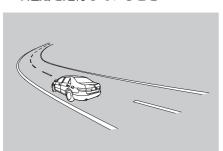
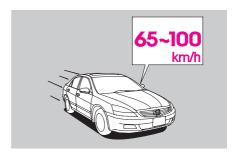
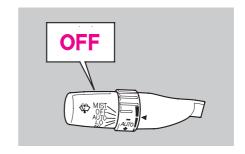
知　識

- インストルメントパネルの上に物を置かないでください。フロントガラスに反射してカメラに写り、白線(黄線)を正しく検知することができないおそれがあります。
- 急なハンドル操作をしたときは、LKASが自動で解除され待機状態になります。
- 次のようなときは、システムが正常に作動しないおそれがあります。
  - ・トランクやリヤシートなどに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
  - ・タイヤの空気圧が指定空気圧に調整されていないとき
- サスペンションの改造はしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると、システムが正常に作動しないおそれがあります。
- システムからの操舵力により、走行位置が左右の白線(黄線)のどちらかに片寄るようなときは、LKASの使用をやめてHonda販売店で点検を受けてください。

●LKASの作動条件

LKASは、次のすべての条件を満たしたときに作動します。

・左右に白線(黄線)が引かれている車線の中央付近を走行しているとき

・約65～100km/hの速度で走行しているとき

・直線または半径約230m以上のカーブの道路を走行しているとき

・ワイパーを連続で作動させていないとき

なお、これらの条件を満たしていても、悪天候などで正確に白線(黄線)を検知できないような状況のときは、LKASが待機状態のままで作動しないことがあります。

知　識

- LKASは、IHCCが作動中のときにのみ作動します。ただし、設定車速が45〜64 km/hのときは、IHCCは作動しますがLKASは作動しません。
- 規制速度を超えると、半径約230m以上のカーブでもLKASは作動しないことがあります。
  カーブを走行するときは、規制速度に応じた適切な速度で走行してください。
- ワイパースイッチが"AUTO"のときは、雨などでワイパーが連続作動になってもLKASは解除されません。システムが白線(黄線)を検知することができなくなると、LKASは自動で解除されます。システムが再び白線(黄線)を検知すると、LKASは自動で復帰します。
  雨などでワイパーが連続作動になるようなときは、LKASは使用しないでください。

  LKASのみを解除する　→40ページ
- ワイパースイッチが"MIST"のときは、LKASは作動します。ただし、ワイパーを連続して作動させるとLKASは解除されます。

LKASを作動させる

①設定車速が65～100km/hの範囲で、IHCCを作動させると、LKASが待機状態になります。
②車線の中央付近を走行し、システムが左右の白線(黄線)を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイに車線表示が点灯し、LKASが作動します。

知　識

- システムが左右の白線(黄線)を検知するまでは、LKASは待機状態のままになります。
- ハンドルを軽く握り、車線の中央付近を走行するようにハンドルを操作すると、システムからの操舵力が最適にはたらきます。

方向指示器（ウィンカー）およびワイパーの操作をすると、LKASが解除され待機状態になります。このとき、ディスプレイの車線表示が消灯します。

方向指示器（ウィンカー）の操作をしたとき

車線変更などで方向指示器（ウィンカー）を操作すると、LKASが解除され待機状態になります。
方向指示器が戻り、車線の中央付近を走行して、システムが左右の白線（黄線）を検知するとLKASが自動で復帰します。

ワイパーの操作をしたとき

ワイパースイッチを“LO”または“HI”にして、ワイパーを連続で作動させると、LKASが解除され待機状態になります。
ワイパースイッチを“OFF”にし、システムが左右の白線（黄線）を検知するとLKASが自動で復帰します。

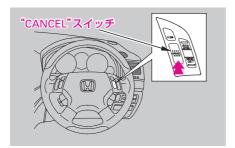
知　識

- ワイパースイッチが“AUTO”のときは、雨などでワイパーが連続作動になってもLKASは解除されません。システムが白線（黄線）を検知することができなくなると、LKASが自動で解除されます。システムが再び白線（黄線）を検知すると、LKASは自動で復帰します。
  雨などでワイパーが連続作動になるようなときは、LKASは使用しないでください。
  LKASのみを解除する　→40ページ
- ワイパースイッチが“MIST”のときは、ワイパーを連続して作動させるとLKASは解除されます。

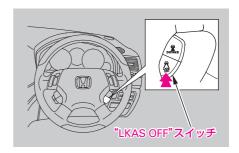
LKASを解除するとき

IHCCと同様に次の操作をすると、LKASとIHCCが解除されます。

・“CANCEL”（キャンセル）スイッチを押したとき
・ブレーキペダルを踏んだとき
・“HiDS”スイッチを押したとき

知　識

● “HiDS”スイッチを押すと、メーター内の“HiDS”表示灯（グリーン）が消灯しシステムがOFFになります。

●LKASのみを解除する

ハンドルにある“LKAS OFF”スイッチを押すと、LKASのみを解除することができます。

このとき、マルチインフォメーションディスプレイに“LKAS OFF”が表示され、車線表示が消灯します。

もう一度LKASを作動させるときは、“LKAS OFF”スイッチを再度押します。

知　識

- “HiDS”スイッチをONにしたときはLKASは自動的にONになります。
- カメラ内部の温度が高温または低温になり、LKASが自動で解除されたときにも“LKAS OFF”が表示されます。
- IHCCが解除されたときは、LKASも同時に解除されます。

自動解除について

次の場合には、LKASが自動で解除され待機状態になり、マルチインフォメーションディスプレイの車線表示が消灯します。このときブザー(単音1回)も同時に鳴ります。

知　識
- LKASが自動で解除されても、IHCCは作動しています。

白線(黄線)を検知できないとき
システムが白線(黄線)を正しく検知することができないときは、LKASが解除され待機状態になります。
白線(黄線)を正しく検知することができると、LKASは自動で復帰します。

車速が下がったとき
先行車との車間距離を制御しているときに、車速が約60km/h以下になると、LKASが解除され待機状態になります。
車速が約65km/h以上になると、LKASは自動で復帰します。

急なハンドル操作をしたとき
急なハンドル操作をしたときは、運転者によるハンドル操作を優先して、LKASは解除され、待機状態になります。
急なハンドル操作をした後は、LKASは自動で復帰します。

知　識
- さらに急なハンドル操作をしたときは、IHCCも解除されます。

ハンドル操作をしていないとき
ハンドル操作をしないまま走行すると、LKASが自動で解除され待機状態になります。このときはマルチインフォメーションディスプレイにハンドルマークがオレンジ色で点滅します。
ハンドル操作をすると、LKASは自動で復帰します。

次のようなときにも、LKASは自動で解除され待機状態になります。LKASが作動できる状態になると自動で復帰します。
・急なカーブを走行したとき
・不適切な速度でカーブを走行したとき
・カメラ内部の温度が高温または低温になったとき

マルチインフォメーションディスプレイの表示について

表示	状態
100km/h 車線表示が消灯	白線(黄線)を検知できず、LKASが待機状態のとき
100km/h 車線表示が点灯	白線(黄線)を検知して、LKASが作動しているとき
LKAS OFF 100km/h “LKAS OFF”が点灯	・“LKAS OFF”スイッチを押して、LKASを解除しているとき ・カメラ内部の温度が高温または低温になり、LKASが自動で解除されたとき
100km/h 車線表示が消灯 ハンドルマークがオレンジ色で点滅	ハンドル操作をしていないとき (LKASが解除されます)
100km/h ハンドルマークがオレンジ色で点灯	自車が車線を越えるおそれがあるとき (車線逸脱警報が作動中)

LKASの警報について

LKASが作動しているときは、警告ブザーと警告表示で、ハンドル操作の注意を運転者にうながします。

●車線逸脱警報

自車が車線を越えるおそれがあるときに作動します。
この場合は、適切にハンドルを操作し、車線の中央を走行するようにしてください。

警告ブザー
断続音（ピッピッピッピッ…）が鳴ります。

> 知　識
> ● LKASの警告ブザーは、IHCCの警告ブザーより低い音になっています。

警告表示
マルチインフォメーションディスプレイにハンドルマークがオレンジ色で点灯します。

> 知　識
> ● 車線逸脱警報が作動したままで、自車が車線を越えると、LKASが解除され警報は停止します。
> このときLKASは待機状態のままで、再び車線の中央付近を走行し、左右の白線（黄線）を検知すると、LKASは自動で復帰します。

●ハンドルマーク

ハンドル操作をしないまま走行したときは、車線表示が消灯し、マルチインフォメーションディスプレイにハンドルマークがオレンジ色で点滅します。

LKASのブザー音について

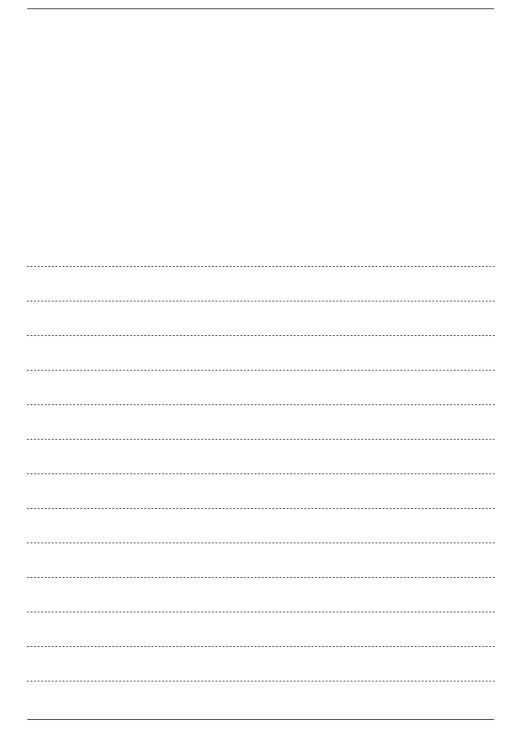
次のようなときはブザーが鳴り、運転者にシステムの状態を知らせます。

単音１回（ピッ）

LKASが自動で解除され、待機状態になったときに鳴ります。

・白線（黄線）を検知できなくなったとき
・車速が約60km/h以下になったとき
・急なハンドル操作をしたとき
・ハンドル操作をしないまま走行したとき
・急なカーブを走行したとき
・不適切な速度でカーブを走行したとき
・カメラ内部の温度が高温または低温になったとき

単音３回（ピッピッピッ）

“LKAS　OFF”スイッチを押して再度LKASを作動させるときに、カメラ内部の温度が高温または低温になっている場合は、ブザーが鳴ってLKASが作動できないことを知らせます。

お問い合わせ、ご相談は、お買い求めのHonda販売店もしくは全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターがお受け致します。

イイフレアイオ

フリーダイヤル　0120-112010

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

受付時間　9：00〜12：00　13：00〜17：00

〒107-8556　東京都港区南青山２－１－１

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30SFY900
00X30-SFY-9001

Ⓞ (HC) 300.2005.03.4